



～笑顔あふれる
育ちのひろば～
令和7(2025)年3月28日
社会福祉法人 見真会 明光保育園

暖かな南風に乗って、桜の花々が野山や街をあでやかに彩る季節になりました。

明光保育園では、「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育理念に掲げて、4月からの1年間、子どもたち一人ひとりの思いや声に寄り添う日常の保育を大切に、子どもを真ん中に置いた、子ども主体の保育を実践してきました。

また、幼児を中心に学習支援(知育、創作、音楽、運動、語学など)に力を注ぎ、養護と教育を一体的に展開することで、子どもたちの未来を見据えた無限の育ちをチーム全体でサポートしてきました。

そして、保護者の方々の愛情に包まれながら、今、白組の17名の個性豊かで、たくましく育った子どもたちが、大きな夢と希望(少しの不安)を胸に小学校に巣立っていきます。

白組のみなさん、おめでとう！ 夢を大切に！
保護者のみなさん、お子様のご卒園、心からお慶び申し上げます。

私たちは、これからも、子どもたちを真ん中に、子どもたちの日々が心地よく、生き生きと、幸せなものとなるとともに、生涯にわたる学習や生きる力の基礎をしっかりと育んでいくことができるよう、チームを挙げて保育の質の向上に努めいきます。

引き続き、保護者の方々には、次代を担う健やかな子どもたちの育ちをともに保障していくため、ご家庭との連携と協働について、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

～白組とのお別れ遠足～

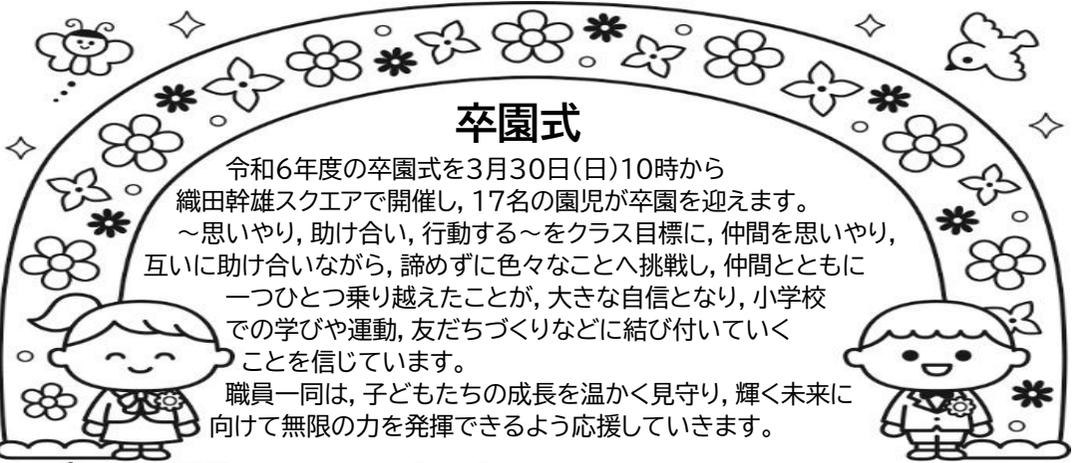
3月11日(木)、白、青、黄組の子どもたちが石原公園に、お弁当を持って、お別れ遠足に行きました。

白組は、黄組の子どもたちの手をつないで歩くペースを合わせて、危なくないよう、優しく年下の子を思いやりながら無事に到着しました。

異年齢のグループに分かれて、河川敷では、しっぽとりゲームやサッカーを楽しんだり、公園の固定遊具では、ブランコや滑り台、はしご渡りなど、思う存分身体を動かして遊びました。

お昼には、愛情のこもったお弁当を広げて、見せ合いながら、一緒に楽しく食べることができました。

異年齢の交流を通して、お互いを大切にし、応援したり、助け合ったりしながら、白組の園児との思い出がたくさんできました。



卒園式

令和6年度の卒園式を3月30日(日)10時から織田幹雄スクエアで開催し、17名の園児が卒園を迎えます。
～思いやり、助け合い、行動する～をクラス目標に、仲間を思いやり、互いに助け合いながら、諦めずに色々なことへ挑戦し、仲間とともに一つひとつ乗り越えたことが、大きな自信となり、小学校での学びや運動、友だちづくりなどに結び付いていくことを信じています。
職員一同は、子どもたちの成長を温かく見守り、輝く未来に向けて無限の力を発揮できるよう応援していきます。

令和7年度
クラス担任のお知らせ

クラス	担任	副担任
白組(5歳児)	今田	相原
青組(4歳児)	蒲生	乃美
黄組(3歳児)	松本	倉留
桃組(2歳児)	栗林	森戸
赤組(1歳児)	奥崎	山崎
ひよこ組(0歳児)	金井	

※島崎は4月から産休を取得します。

新一年生の「一人歩き」デビューに注意！

入学前に交通安全で必要なことを身に付けておくことが大切です。特に交差点、見通しの悪い曲がり角、横断歩道などで、道路を渡るときは、信号などでも飛び出さないこと、進む方向だけでなく周囲に車やバイク、自転車などが自分に近づいてきていないか、しっかり立ち止まって確認することを身に付けさせてください。
また、入学前に一緒に通学路を歩き、危険な場所について確かめておくことも大切です。
2025年3月8日よこの安全ニュース第461号
少年写真新聞社

日	月	火	水	木	金	土
3月30日 卒園式 休日保育	31	4月1日 卯月 体操のひろば (うづき)(青・黄組)	2 調整会議	3 乳児会議	4 幼児会議	入園式 (新入園児)
6 休日保育	7 世界保健デー	8 花まつり	9 進級式 (ひよこ組除く。)	10	11	12
13 休日保育	14	15 体操のひろば (白・桃組)	16 避難訓練 (火災)	17	18 4月の誕生日会	19
20 観音 休日保育	21 身体測定週間	22 体操のひろば (青・黄組)	23	24	25 SIDS 職員訓練	26
27 休日保育	28	29 昭和の日 休日保育	30 体操のひろば (白・桃組)	5月1日 卯月 八十八夜 (さつき)	2	3 憲法記念日 休日保育

園だより担当
園長代理:原田

電話(082)824-7801 (URL) <https://kenshin-meikou.jp>
FAX (082)824-8030 メールアドレス info@kenshin-meikou.jp

子どもの姿と子どもの育ち（園児99人）

～笑顔あふれ、元気に育つ～ ひよこ組 【0歳児 12人】担任:奥崎 副担任:蒲生

目標『愛情を受け止め、五感を磨き、全身を使って思いを表現できる』子ども

子どもたち一人ひとりの成長に寄り添い、安全で安心できる心地よい生活環境の中で子どもたちの思いや欲求を十分に受け止め、応えることで愛着関係を築いてきました。

子どもたちは、絵本を見たり、歌を歌ったり、戸外で伸び伸びと身体を動かしたり、暖かな日差しやさわやかな風、周りにあふれる様々な物に気付いて見たり、触ったり、感じたり、五感を磨いて、嬉しいこと、悲しいこと、心地よいことなど、自分の思いを全身で表現できるようになってきました。

また、保育士や他児と一緒に遊んで触れ合いを深める中で、互いに笑い合い、手をつなぐなど、クラスのみならず、やりとりやつながりも広がっています。

これからは、保育士との愛着関係を基盤に、五感をを使った遊びを充実させながら、周りの人や物への興味や好奇心を育み、自分の思いがもっと広がるように支援していきます。



～自分の思い、いっぱい育む～ 赤組 【1歳児 16人】担任:金井 副担任:森戸

目標『人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる』子ども

保育士や子ども同士の間で、周りの人や物への興味、関心が広がり、みんなと一緒に遊ぶ楽しさを知ることで、人の温もりに触れ、言葉でやりとりできることも増えました。

おもちゃの貸し借りでは、「かして」「いいよ」「あとで」など、自分の思いを相手に言葉で伝えることができるようになってきたり、園外保育では、他児と一緒に手をつないで歩き、花を見付けると、「お花咲いてるね」「かわいいね」「ピンクだね」など、見たこと、感じたことを自分自身の言葉で伝えることができるようになりました。

滑り台やブランコなどで遊ぶ時のルールも身に付いて、「危ないよ」「順番ね」など、園児同士がやりとりしながら遊べるようになりました。

これからは、子どもたち一人ひとりの思いをしっかり受け止め、寄り添い、生活や遊びの中での経験をとおして、感性を育み、自分の思いを豊かに表現し、行動できるように支援していきます。



～明るく、伸び伸び、自分らしく～ 桃組 2歳児 16人】担任:栗林 副担任:倉留

目標『自我と感性を育み、自分から自分の思いを表現できる』子ども

子どもたちは、食事や排泄、手洗い、着脱、片付けなどの基本的な生活習慣が身に付いて、「自分でする!」と言っては、できるまで根気強く、挑戦し、できることが増えてきました。自分でできないことは、「難しい手伝って!」などと、自分の思いを自分の言葉で伝えることができるようになりました。

ごっこ遊びや絵本の読み聞かせを通して感性が生まれ、色々な言葉を知り、みんなとの会話や遊びを重ねることで、みんなへの思いやりと、自分への強い思い(自我)が芽生えています。

進級後は、クラスの中で一人ひとりが自分らしさを発揮して、それぞれの興味や関心を広げたり、深めたりできるよう、知育や創作、音楽、運動などの支援活動をとおして、自らの「したい」「やりたい」を「やってみる」につなげていきます。



～したい、やりたい、やってみる～ 黄組【3歳児 19人】担任:松本 副担任:相原

目標『自分らしさを発揮し、主体的に興味・関心を深め、活動できる』子ども

子どもたち一人ひとりの興味や関心を日々の保育や学習支援の中で大切に育み、一人ひとりの個性や存在を認めることで、一人ひとりの「自分らしさ」が表れてきています。

運動では、体操のひろばや集団遊びで、走ったり、止まったりなど、身体をコントロールする中で、自分が得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことなど、今の自分自身を知り、身体を動かすことを喜んだり、仲間との遊びを発展させていっています。

創作活動や音楽活動では、「〇〇を作りたい」「〇〇を歌いたい」など、自分の思いを伝え、みんなの思いとの折り合いを付けて「したいこと」「やってみる」を広げています。

また、今年が初めての運動会、発表会などを通して、自分と仲間の力を合わせてやり切ったことが、自分の大きな自信と仲間への信頼につながっています。

青組では、仲間とのきずなを深めながら、一人ひとりの大切な「自分らしさ」を認め、誰もが大切な存在として支援していきます。



～みんなつながり、思い広がる～ 青組【4歳児 19人】担任:今田 副担任:乃美

目標『仲間の一人として生き生きと行動し、自分らしさを表現できる』子ども

クラスの一員として当番活動などを通して、各々の役割の大切さを知り、自分の役割に責任を持ってやり切る気持ちが育まれてきています。また、仲間とのルールのある遊びやグループ活動を進める中で、自分らしさを出しながらも、仲間の思いに気付き、相手を気遣い、お互いの役割を認め、仲間とのきずなを強めることでクラスが一つにまとまってきています。

運動会や発表会では、誰もが何にでも積極的に挑戦し、仲間と助け合い、協力することで、やり遂げることができたことが、大きな自信につながっています。

また、文字や数字を覚えてトランプやかるたで遊んだり、特に動植物に興味を持って図鑑で調べたりと、一人ひとりに新たなことを知り、楽しみ、探求していくなどの学習に向けての基礎が育ってきています。

白組では、個性と主体性、興味や関心を尊重しながら、仲間と一緒に目標に向かって、なんでも挑戦し、協力し合って、最後までやり遂げることで自己肯定感が高まるよう支援していきます。



～思いやり、助け合い、行動する～ 白組 【5歳児 17人】担任:島崎

目標『仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦・協力し、やり遂げられる』子ども

子どもたちは、目標に向かって、何事にも挑戦し、最後までやり遂げた様々な体験の中で、できた嬉しさや、できない悔しさを知りました。

一人ひとりが、自分の力を信じ、仲間の思いに耳を傾け、話し合い、互いに考え、相手を思いやり、折り合いを付けながら、創意工夫、協力・協働していくことの大切さを学び、仲間とのきずなを深めながら成長してきました。

また、時間を意識して見通しを持った行動ができ、新しいこと、不思議なことへの興味や関心、探究心が旺盛で「もっと知りたい」という意欲が学習の基礎となる読む、聞く、話す、書くことに結び付いています。

卒園に当たり、一人ひとりが個性豊かに心も、体も、こんなに大きく、立派になって小学校に巣立っていくことを職員一同とてもうれしく、たくましく思います。

一人ひとりは、とても大切な存在です。そして、誰もが多様で無限の可能性を秘めています。これまで培った生きる力を発揮して、未来にひかり輝くことを見守り、応援しています。